

川崎市ががんばるものづくり企業応援補助金交付申請書
【経営改善事業】

令和●年●月●日

(あて先) 川崎市 長

本店所在地 川崎市川崎区▲▲町○番地

企業名 ●●●●株式会社

代表者職・氏名 代表取締役 川崎 一子

代表者印

事業実施場所 川崎市幸区××町○番地

代表者役職名・氏名を記入し、
“代表者印”を押印

事業を実施する川崎市内の事業所の所在地を記入

〔連絡担当者〕

氏名 川崎 一美

所属・職名 技術部 部長

電話番号 044-***-****

メールアドレス ▲▲▲@◎◎◎◎.co.jp

本申請書について問い合わせをする際の窓口担当者を記入

川崎市ががんばるものづくり企業応援補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり申請します。

対象事業	<input type="checkbox"/> 生産工程向上 <input checked="" type="checkbox"/> 人材育成
補助対象経費	622,500円(税別) 補助対象経費の定義は、「公募要領6. 補助対象経費」の表を参照のうえ、記入する
補助申請額	311,000円 補助対象経費の1/2の額、且つ最大50万円を超えない額を記入(千円未満の端数切り捨て)
補助対象経費内訳	<ul style="list-style-type: none">旅費：従業員の研修会場までの交通費 102,500円委託費：機械メーカーへの研修委託料 500,000円その他経費：テキスト購入費 20,000円
	合計 622,500円

・補助対象経費の内訳を記入
・費目名は「公募要領6. 補助対象経費」の表から選択
・項目が多い場合は別紙に記載

◆企業概要

事業内容	金属部品加工	資本金	10,000千円 (大企業の出資割合 0%)
従業員数	10名	創業年月	1982年10月

常時雇用者数が20名以下の製造業者もしくは5名以下の情報通信業者のみ応募可能

事業計画書

事業名	新技術習得のためのオーダーメイド研修
事業実施に至る経緯（課題）	<p>弊既存取引先のF社から、2年計画で◆◆技術の習得を求められている。◆◆技術については、2工程からなるもので、そのうち1工程は既存の工法で対応できる。しかし、もう一つの工程は弊社としても未経験の××技術を活用したものであり、技術習得が必要となる。</p> <p>今後のF社の計画では、◆◆技術を使った部品の発注量が増加する見込みであり、従業員を××技術習得のため機械メーカーに委託して研修を実施する。</p>
事業概要	<p>（事業計画の内容）</p> <p>1）基礎技術習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術習得するのは、経験5年の若手技能者2名。それぞれに基礎的な内容の書かれた技術書籍を与えて、予習を促す。購入する書籍は、「××技術の基礎知識」 <p>2）機械メーカーでの研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・××技術については、工作機械メーカーのG社に技術蓄積があり、G社に依頼して弊社若手技能者にあつたレベルでのオーダーメイド型の研修を実施する。技術習得にあたっては、G社の▼▼工場（◇◇県）にある機械が必要となるため、弊社から出張して▼▼工場内のセミナールームにて受講する。 <p>（事業実施に関わる経費）</p> <p>1）基礎技術習得</p> <p>××技術の技術書籍購入（10,000円×2名分） （対象外経費：基礎習得にかかる社内人件費（3,000円/時×40時間））</p> <p>2）機械メーカーでの研修</p> <p>研修委託料：機械使用料を含む半日5回分（500,000円） 研修会場までの交通費（往復10,250円×2名×5回）</p>
事業スケジュール	<p>1）基礎技術習得 7～8月</p> <p>2）機械メーカーでの研修 9～12月</p>
事業実施により期待される効果（成果目標）	<p>××技術は、近隣の同業他社では取り組んでいない技術であり、この技術を習得することで弊社の競争力は向上するものと考えている。</p> <p>また、今まで弊社ではベテラン技能者を中心にノウハウを蓄積してきたが、若手への技術承継が進まないという課題があつた。今回、研修の形で若手技能者に直接ノウハウが蓄積できることで、中長期的な視点での効果が大きいと考えている。</p>

内容は箇条書きにして、費用やスケジュールと連動するように番号を振る

書ききれない場合は別紙にご記入ください。

技術を得ることによる効果を書く